Vene Investment

VENEZUELA TODAY

２０１７年１１月６日～１１月７日報道　　No.０５６　２０１７年１１月８日（水曜）

（写真）大衆意志党　”政府の抑圧を非難するフレディ・ゲバラ国会第一副議長”

２０１７年１１月６日（月曜）

政　治

「制憲議会　ゲバラ議員の免罪特権はく奪を承認」

「ファルコン元州知事　野党の新同盟組織を提案」

「大統領　通信文化担当副大統領職を新設
～ホルヘ・ロドリゲス情報通信相が兼務～」

「市長選出馬を巡り与党陣営も統率に乱れ」

経　済

「米石油サービス会社　ベネズエラ事業再考」

「ボリバル州先住民　コルタンの掘削を提訴」

社　会

「ラミレス元 PDVSA 総裁の汚職調査」

２０１７年１１月７日（火曜）

政　治

「来週１３日（月曜）に国連で非公式会合」

「釈放野党政治家　大統領選の予定日言及」

「リベルタドール市長選出馬の５名を発表」

「世論会社　人気の大統領候補はポラール社長」

経　済

「ウルグアイ　政府に商業債務支払いを求める」

「国会　インフレ率は１０カ月で８２５．７％」

「Moody’s　政府、PDVSA 債の格下げ」

「１７年前期の輸出が前年同期比３０％増加」

「ベトナムと米の生産拡大で協力」

２０１７年１１月６日（月曜）

政 治

「制憲議会　ゲバラ議員の免罪特権はく奪を承認」

最高裁がフレディ・ゲバラ国会第一副議長の免罪特権のはく奪を制憲議会に申請し、騒動になっている（一連の報道は「ベネズエラ・トゥデイ No.55」）。

１１月６日　制憲議会は臨時国会を開催し、フレディ・ゲバラ国会第一副議長の免罪特権のはく奪を承認した。

デルシー・ロドリゲス制憲議長は
「フレディ・ゲバラ議員は外国政府からドルを受け取っていた。そのお金で他の議員らと外国を旅行し、ベネズエラに対して経済制裁を行うよう求めた。外国からの軍事介入を求めた。ゲバラ議員は反政府デモの直接的な責任者で罰せられるべきである。」と発言した。

（写真）国営報道 Correo del Orinoco

一方で、ゲバラ国会第一副議長は同日深夜に、映像を公開し以下のコメントをした。

「政府は国会議員に保証された免罪特権を剥奪した。残念だが、これは予期できたことだ。政府は去年から私を刑務所に入れると脅していた。

私の戦いは自分ひとりの戦いではない。もっと大事な戦いをしている。いつの日か、今の政府がベネズエラを去り、我々がベネズエラに残ることを確信している。
国民は誰が殺人者で責任の所在が誰にあるのかを知っている。私は政府に屈しない。

略奪者の最高裁判所と検察庁が、無実の罪で私を訴えた。ただ、私自身が認識していることがある。

確かに私は街頭での抗議行動を呼びかけた。なぜなら、これは市民が出来る抗議意志の表明だと信じているからだ。過去に抗議行動を呼びかけたし、今後も再び呼びかけるだろう。

我々は選挙には参加しない。我々は大統領を変えるために自由な選挙を勝ち取ることに焦点を当てなければいけないからだ。

大衆意志党の同志には強くあることを求める。近いうちに再び街頭を行進する日が来る。その日は新しい大統領の誕生を祝うための行進になる。国民にも強くあることと信じることを求める。」とコメントしている。

ゲバラ議員はチリ大使公邸で保護されている。チリ政府はゲバラ氏が望めば亡命申請を受理する用意があると発言している。

「ファルコン元州知事　野党の新同盟組織を提案」

発展進歩党（AP）のヘンリー・ファルコン党首は野党連合が既に消滅しており、新しい同盟を組織する必要があると訴えた。

「私は野党連合が消滅したと確信している。野党連合はその役割を終えた。成功をしたこともあった。国会議員選挙は成功だった。失敗もあった。

野党は新しい統一したプラットフォームを作る時だ。新しい連合は全ての国民を排除することなくカバーする。

私は今の野党連合よりも広い原理原則を持っている。新しい連合には誠実さが必要だ。」と訴えた。

なお、現在のチャカオ市長で１２月１０日の市長選にも参加するグスタボ・ドゥケ市長は AP に所属している。

これまでも何回か書いてきたが、筆者は彼が一番適切な野党の大統領候補だと考えている。

（写真）発展進歩党

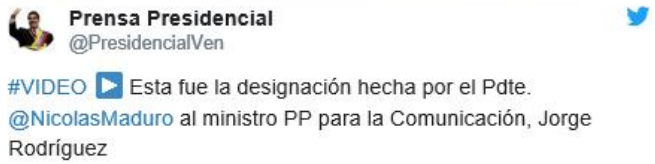
「大統領　通信文化担当副大統領職を新設
～ホルヘ・ロドリゲス情報通信相が兼務～」

１１月６日　マドゥロ大統領は新たに情報文化担当副大統領職を新設し、同職に情報通信相のホルヘ・ロドリゲス氏を任命した。

同職は情報通信省と文化省と観光省を管轄する役割を果たすと発表した。

ロドリゲス情報通信相は、カラカスの首都リベルタドール市長に加えて選挙管理委員会の代表や与党の選挙キャンペーン対策長などを歴任してきた。

心理学者で与党の政策立案に深くかかわる人物として知られている。



（写真）大統領府　公式報道ツイッター
“ホルヘ・ロドリゲス情報通信相”

「市長選出馬を巡り与党陣営も統率に乱れ」

野党連合が大分裂を起こしている件は「ウィークリー・レポート No.17」などで、これまで何度も紹介してきた。

実は与党もベネズエラ社会主義統一党（PSUV）以外にベネズエラ共産党（PCV）や全国民のための党（PPT）など小規模政党がいくつか存在している。今回の市長選では、与党連合も各党がバラバラで出馬申請している。

最近ではカラボボ州のラファエル・ラカボ新知事とフランシスコ・アメリアッチ元知事が衝突した。
他、スリア州の知事選もアレアス・カルデナス元州知事が再出馬するとの見方が大半だったが、出馬しなかった。ネストール・リベロール内務司法平和相が、カルデナス元知事の抗議行動への対応に不満があったようで同氏の知事選再出馬に否定的だったとの噂が流れている。

また、イサイアス・ロドリゲス制憲議会第２副議長が事実上、解任されるなど与党内部でも不協和音が散見される（「ベネズエラ・トゥデイ No.52」１０月２９日付の記事参照）。

経　済

「米石油サービス会社　ベネズエラ事業再考」

米国の石油サービス事業者は、過去の未払いが積もった状態で、このまま PDVSA へのサービスを継続するか難しい選択に迫られている。

例えば各社が公表している最新の財務報告書によるとハリバートンは７．３億ドルをベネズエラに投資し、４．３億ドルの請求が未払い。シュルンベルジュは約７億ドルの債券が焦げ付いている。ウェザーフォードは少なくとも１．６億ドルの未払いが計上されている。ベーカーヒューズも１億ドルの売掛金を計上している。

関係者は、「ハリバートンは PDVSA から手形を受け取ったが同手形を減損計上した。同社はベネズエラではもう新しい仕事はしない。新しい手形を受け取るつもりもない。」と話した。

「ボリバル州先住民　コルタンの掘削を提訴」

ボリバル州セデーニョ市パラグアサ地区に住む先住民のエンリケ・ゴルド族長は、レアメタル「コルタン」採掘のための政府との合弁会社設立に合意する署名を偽装したとして、同地域の先住民から訴えられている。

訴えを起こした先住民フランクリン・キニョネス氏は「合弁会社の提案については、この地域に住む１１の共同体が反対し、賛成したのは５つの共同体だけだった。事前にきちんとした説明は受けていなかったし、署名が偽装されていた。川を維持し、我々の生活を維持したいと考えている。」とコメントした。

コルタンを採掘する合弁会社 Parguaza は２０１６年に設立し、５５％は政府の持ち株で残りの４５％が Faoz 共同体の持ち株となっている。パラグアサ地区では合法的に採掘を行っている唯一の会社で、２０年間の採掘権を持っている。

社　会

「ラミレス元 PDVSA 総裁に汚職調査」

PDVSA 元総裁で現在の国連代表大使であるラファエル・ラミレス氏と同氏の兄らに資金洗浄の疑いがかけられている。

エル・ナシオナルのコレスポンデントを務める Maibort Petit 氏が自身のブログで詳細を告発している。

関係しているのはキューバ人事業家のルイス・ハビエル氏とルイス・ディアス氏（２人は親子）。二人は自分の会社を通じてベネズエラ政治家たちの資金洗浄を手伝っていたとされる。

具体的にはラミレス国連大使、その兄であるフィデル・ラミレス氏、ジェシー・チャコン元電気エネルギー相のアドバイザーであるラファエル・モンテス氏など。

Peitt 氏のブログでは資金の送金元は政府向けに発電設備を供給していた KCT CumanaⅡ。２００９年に設立された会社でオーナーはブラス・エレラ氏と報じている。

２０１７年１１月７日（火曜）

政 治

「来週１３日（月曜）に国連で非公式会合」

アルゼンチンのホルヘ・ファウリエ外相は、米国とペルー、カナダの求めにより１１月１３日（月曜）に国連安全保障理事会でベネズエラの情勢について非公式に協議する。と発言した。

協議には米州機構のアルマグロ事務局長やリマグループのメンバーも召集されている。

１１月７日　アルゼンチンのマクリ大統領は国連のグティエレス事務局長と面談し、ベネズエラについて「出口が見えていない。国民は国を脱出している。これはベネズエラ政府が民主主義を求めるリーダーを追い出すための計画だと信じている。」とコメントした。

リマグループの一員であるカナダ、ペルーの外相も１０月３０日にベネズエラ問題に関わるようグティエレス事務局長への申し入れていた（「ベネズエラ・トゥデイ No.53」１０月３０日付の記事参照）。

「釈放野党政治家　大統領選の予定日言及」

１１月３日に解放された大衆意志党（VP）のヨン・ゴイコチェア氏は、市長選への不参加を主張する VP を離れて発展進歩党（AP）の党員としてミランダ州エルアティージョ市に出馬した（「ベネズエラ・トゥデイ No.54」１１月５日付の記事参照）。

ゴイコチェア氏は民放のインタビュー番組で「あと５カ月後に大統領選がある。２月あるいは３月。恐らく２月４日（土曜）だ。」と発言した。

同氏は３日の深夜に解放された。市長選への出馬期限が１１月２日であったため、期限通りに申請を済ませたのであれば拘束中に出馬申請をしたということになる（「ベネズエラ・トゥデイ No.54」１１月１日付の記事参照）。

また、解放されてから２日、３日でどこから大統領選の情報を入手したのか。AP のヘンリー・ファルコン党首だろうか。拘束中に政府とどのようなやり取りがされたのかが気になるところだ。

なお、インタビュー番組を見ていたが、話す内容も伝え方も明確で分かりやすかった。

言い方は適切ではないかもしれないが、政府に拘束されたベネズエラの政治家は拍（はく）が付く。

チャベス元大統領もレオポルド・ロペスも同様だ。今後、注目を集める政治家の一人になるのかもしれない。

（写真）グロボビシオン映像の抜粋

「リベルタドール市長選出馬の５名を発表」

「ベネズエラ・トゥデイ No.54」１１月２日の記事で与党のベネズエラ社会主義統一党（PSUV）からリベルタドール市長に出馬するのはエリカ・ファリア氏だと紹介した。
それ以外に以下の４名がリベルタドール市長に出馬している。全員が与党に近い人物になった。

1. エドゥアルド・サマン
（全国民のための党 PPT 所属）
元消費者保護庁（INDEPABIS）、価格統制庁（SUNDECOP）長官。

（写真）サマン氏のツイッター

2. ラファエル・ウルダネタ
全国民のための党 PPT の秘書官

（写真）PPT ウェブサイト

3. オスワルド・リベロ
国営放送局 VTV「Zurda Konducta」の司会者
今年７月５日に国会が与党支持者に襲撃された事件があったが、この事件の原因となった人物（「ベネズエラ・トゥデイ No.3」７月５日付の記事参照）。

（写真）Zurda Konducta より抜粋

4. ニックメル・エバンス
政治評論家。マレア・ソシアリスタ創始者だが現在は離党し、現政権への非難をしている。

（写真）Runrun

ニックメル・エバンス氏だけが現政権に批判的だが、野党陣営に属する人物ではない。エリカ・ファリア氏が当選する可能性が高いとは思うが、誰が当選してもベネズエラの首都カラカスの中心都市リベルタドール市長は与党に近い人物になる。

「世論会社　人気の大統領候補はポラール社長」

与党系の民間世論調査会社インテルラセスは、「大統領選で野党から誰が出馬をしてほしいか」とのアンケート調査を実施した。

１位は、食品製造大手ポラール社のロレンソ・メンドーサ社長（回答者の２３％が支持）

２位は、発展進歩党（AP）のヘンリー・ファルコン党首（同１４％）

３位は、大衆意志党（VP）のレオポルド・ロペス党首（同１３％）

４位は、行動民主党（AD）のラモス・アジュップ幹事長（７％）
なお、先日テレビ番組で司会者に「アルップ」と呼ぶのか、「アジュップ」と呼ぶのかを質問され、自身で「アジュップ」と答えていたので、今後はアジュップと記載する。

５位は、第一正義党（PJ）のエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事（同５％）

なお、特にいないという回答が３７％で最も多かった。

ちなみに、野党系の情報サイト「Dolar Today」でも同様の似たようなアンケートをネットで行っているが、ファルコン氏との回答は全体の３％に過ぎない。

アンケートの数字は調査を行う団体によって大きく変わるので注意しなければいけない。なお、世論調査会社としてはダタナリシスが最も信頼性が高いが、最近の予測はことごとく外している。

経 済

「ウルグアイ　政府に商業債務支払いを求める」

アレアサ外相はウルグアイのモンテビデオでウルグアイのロドルフォ・ニン・ノバ外相と会談した。

ニン・ノバ外相は同会合でアレアサ外相に同国企業への未払い案件を解決するためのスキーム作りを要請した。

ニン・ノバ外相は
「２０１５年６月、ウルグアイのバスケス大統領は２３・５万トンの食料品を３億ドルでベネズエラに供給することでマドゥロ大統領と合意した。しかし、今でも送金は完了していない。」とコメントした。

「国会　インフレ率は１０カ月で８２５．７％」

１１月７日　国会は１０月の月間インフレ率が先月比４５．５％上昇し、２０１７年１月～１０月までの累積インフレ率は８２５．７％になったことを発表した。

２０１６年１２月末に１００円で購入できた商品が、１０カ月後には９２６円になっていることを意味する。

表：　国会発表の消費者物価指数

（単位：％、物価指数は参考値）

	２０１７年				
	１月	２月	３月	４月	５月
物価指数	118.6	142.4	165.5	192.8	227.8
先月比	18.6	20.1	16.2	16.5	18.26
累積インフレ率	18.6	42.4	65.5	92.8	127.8
	２０１７年				
	６月	７月	８月	９月	１０月
物価指数	276.6	348.6	466.1	636.2	925.7
先月比	21.4	26	33.7	36.3	45.5
累積インフレ率	176	248.6	366.1	536.2	825.7

（出所）国会発表をベースにベネインベストメント作成

「Moody's　政府、PDVSA 債の格下げ」

「ベネズエラ・トゥデイ No.55」１１月５日付の記事でS&P と Fitch レーティングス社がベネズエラの長期発行体格付けを下げた記事を紹介した。

Moody'sもベネズエラ政府およびPDVSAの格付けをCaa3からCa（非常に投機的であり、デフォルトに陥っている、あるいはそれに近い状態にあるが一定の原理の回収が見込める債務）に下げた。

格付けを下げた理由は先週のPDVSA２０１７年社債での債務不履行が理由だと説明している。

「１７年前期の輸出が前年同期比３０％増加」

ベネズエラ輸出組合（AVEX）のラモン・ゴジョ会長はテレビ番組に出演し、２０１７年前期は昨年同期と比べて「石油や資源製品を除く品目（ベネズエラでは非伝統輸出産品と呼ぶ）」の輸出が３０％増えたと説明した。

また、米国の制裁は非伝統輸出産品の輸出には大きな影響を与えていないとコメントした。
ゴジョ氏はこのまま輸出が順調に伸びれば、非伝統輸出産品の輸出額は年間で３０億ドルに達するだろうと強調した。

原油価格の下落により、ベネズエラの輸出額が急激に下がったため政府は非伝統産品の輸出促進を呼びかけている。

「ベトナムと米の生産拡大で協力」

ベネズエラ土地農業省はベトナムと米の生産増加のための共同プロジェクトを進めている。

土地農業省ティビサイ・レオン次官は、
「試験的にベネズエラの土地で２０種類の米を栽培した。グアリコ州カラボソ地区で８種類の米の栽培に成功した。これらの種子は一年間に３回収穫でき、１ヘクタール当たり５，０００～６，０００キロの生産が見込める。

現時点ではまだ調査段階だが、農業開発組合と国家農業機関が協定に基づきベトナムと共同調査をしている。」と語った。

ベトナムの Dao Thanh Chung 大使は、ベトナムはベネズエラの農業セクターの開発を保証するとコメントした。

以上